

兵庫県のにり漁場環境情報 (淡路周辺海域 7 号)

2023年12月14日発行
 兵庫のにり研究所

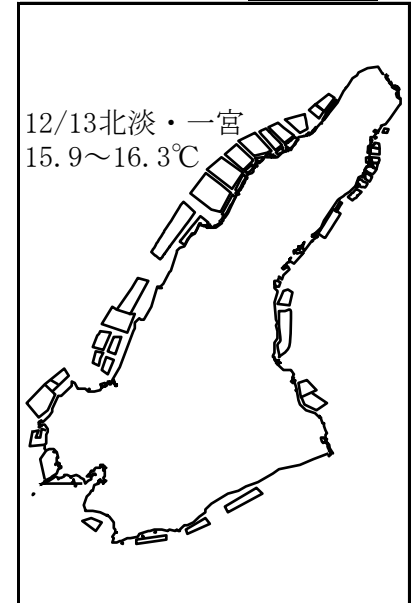
海域全般に、大型珪藻コシノディスカスの発生量は大きく減少しており、ほぼ確認されなくなりました。窒素は、東浦と南浦海域で概ね3～4 $\mu\text{g at/L}$ 台、西浦海域では大阪湾海水の影響が見られる室津浦漁場以北で概ね3 $\mu\text{g at/L}$ 台、その他の漁場で1 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(珪藻)

海域全般に、コシノディスカスの発生量は大幅に減少しており、西浦海域を除き、ほぼ確認されなくなりました。各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、東浦と南浦海域で0～15細胞（前回値：250～600細胞）、西浦海域で10～40細胞（前回値：200～700細胞）であった。

塩田漁場では、小型珪藻のキートセロスがわずかに確認された。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	2.5	3.6	5.7	5.1
	リン	0.53	0.59	0.57	0.53
西浦地先	窒素	1.1	2.4	5.2	5.7
	リン	0.53	0.56	0.62	0.68
南浦地先	窒素	1.8	3.3	4.8	4.9
	リン	0.50	0.72	0.57	0.57

(12/4)

(12/16)

栄養塩 (窒素) 図

2023年12月14日調査

